

APIS RACING レース参戦記

vol. 1.2 Supervisor's comment 玉村秀栄

Honda Dream Challenge

2014 Honda 150cc統一賽 (第24届天马论驾: 5.31-6.1)

『CBFレース第一戦』を終えて
今回の参戦でのポイントはまず、これまで手を付けていなかったサスペンションに手を加えられたこと、そして有望なライダー猪狩君が参加してくれた事が非常に大きい。

バイクを作る上でライダーとの対話がどれだけ深められるか、その挙動を判断し調整して行けることにまだまだCBFの可能性を見い出すことができた。

車体では特にフロントにKYB製倒立フォークを得たことが大きい、乗り味はこれまでのCBFにない安定感と剛性感が生まれたようだ。

もちろんこれはタイムUPにかなり寄与している状況でこれからまだまだ煮詰められる部分でもある。

今回のレースで一番の問題点だったのはエンジンの耐久性について、予選練習前にバルブの欠落でエンジンがダメになり組み換えが必要となった事、それと決勝レースで雨が原因のエンジンストップが有った事。

落雷での計測器故障で、5周目までのタイムでの順位判断となり記録4位となった事は幸運以外の何物でもない。実際決勝タイム記録を見て頂くとわかりますが、ベストなエンジンでないにもかかわらず。

また、雨にもかかわらず周回ごとにタイムが上がっていたことはライダーの実力と言える。

2戦目以降は足回りとエンジンの十分な煮詰めを行うのが目標と思う。

今回ライダーとマシンの相性はすごく



良い事も判明しているので、条件さえ揃えば期待できる結果を残せると確信しています。

その点につきましては期待頂きたいと思っています。

最後に、今回マシン作成にパーツを提供頂いた方々、ご協力頂いた方に深くに感謝いたします。

APIS RACING 監督
上海アピス実業有限公司 副総経理
玉村秀栄